

市政懇談会

「市長と語る会」を開催しました

7月から8月にかけて各地域で市政懇談会「市長と語る会」を開催し、延べ312人の市民の方が参加されました。今年度は、より多くの方が参加しやすく地域に特化した話題なども述べやすいように例年の5会場を15会場に増やして実施しました。また、市長とより多く語っていただけ

るよう会場を車座にしました。結果、参加者は前年112人から大幅に増え、また、参加者から多くの意見や提案などを聞くことができ、市長の考えや思いなども聞いていただくことができました。その内容の一部をご紹介します。

【秘書広報課】

関心の高かった話題

- 地域振興について
- 防災について
- 教育について
(学校統廃合、給食センターなど)
- 産業について
(観光、農林業、商工など)
- 公の施設の方針について
(公民館、集会所、観光施設、環境保全施設など)
- 庁舎、振興事務所について
- 情報通信環境について
- 交通網について
- 移住・定住について
(雇用の確保など)



▲冒頭で参加者にあいさつする服部市長＝8月25日、あさんず会館

実施日・会場・参加者

- 7月12日 17人
きこりセンター(小坂)
- 7月14日 20人
清流ふれあい会館(馬瀬)
- 7月15日 23人
星雲会館(萩原)
- 7月19日 22人
上原小学校体育館(下呂)
- 7月26日 25人
湯屋地区公民館(小坂)
- 7月29日 15人
金山市民会館(金山)
- 8月5日 12人
下原公民館ホール(金山)
- 8月10日 15人
星雲会館(萩原)
- 8月12日 13人
南部研修センター(馬瀬)
- 8月18日 25人
中原公民館(下呂)
- 8月19日 23人
菅田公民館(金山)
- 8月23日 34人
下呂市民会館(下呂)
- 8月25日 22人
あさんず会館(萩原)
- 8月29日 12人
東公民館(金山)
- 8月31日 34人
竹原公民館(下呂)



▲問いかけに回答する服部市長＝8月29日、東公民館

◆下呂市には医者が不足（特に産婦人科医）していると感じるが対応をお願いしたい。

【清流ふれあい会館】

岐阜大学病院への要望を行っていますが、その回答は飛騨圏域一帯として考えてほしいし岐阜県としても産婦人科医の確保は厳しい状況とのこと。とはいえ、医師の確保はとても重要なことですので、今後も何度も足を運んでお願いをしていきます。また、飛騨3市1村で連携していきながら対応していきます。

◆観光において近隣県（富山

県、福井県など）、近隣市町村（高山市、飛騨市、郡上市、恵那市、中津川市など）との連携を強化すると良いと思う。

【星雲会館 7/15】

現在、中部北陸9県による「昇龍道プロジェクト」という事業により近隣県と連携をしており、また、飛騨3市1村でも協力して国に要望するなどといった取り組みを行っています。市長として自らも行動し下呂市をセールスしていきます。

◆上原地区としても観光資源を見つけて観光客を呼びたい。

下呂市の観光をどうしていくのか、具体的な策があれば聞きたい。

【上原小体育館】

下呂温泉の他にも地域の観光資源として、小坂の滝めぐりや金山の筋骨めぐりなどがあり、これらにより下呂市での滞在時間は増えてきています。このような「まちづくり」の中で生まれる観光も必要であると考えています。若い方や女性の意見も大切にしながら、より多くの方の意見を取り入れ市民の方たちが望む「まちづくり」を「まちづくりは人づくりである」という観点から進め、観光策の一部としても取り組んでいきたい。

◆AEDの整備はどうしているのか。

【湯屋公民館】

市内のAEDの分布にバラつきがあるのが現状です。AEDの設置については、管理体制も含めて今後の課題となっています。

◆学校統合について聞きたい。

【金山市民会館】

市としての学校規模のビジョンはありますが、市が主導してこれを押し付けるような考えはありません。地域の

保護者や住民の方たちの思いを大切に考えていきます。要望があれば対応していくこととしています。

◆地域おこし協力隊は金山地域には配属されないのか。

【菅田公民館】

地域おこし協力隊は、地域住民自らが地域づくりを進める上で地域と一緒に行動していく人材のことです。よって地域の要望で対応します。

◆下呂市は情報通信環境が良くないので改善してほしい。

【下呂市民会館】

整備した当時は、地上デジタル放送に対応する環境を作るところから始まっています。が、今後、民間の方の力を借りながら対応していかなければならないと考えています。IT産業は次々に新しい技術で進歩しているので、そこも見極めて進めていきたい。

◆地域で要望書を提出しているが、取り組みが遅いと感じる。もっと早く取り組んでほしい。

【東公民館】

財源に限りがあるため、下呂市全域で優先順位をつけて

取り組んでいます。各担当部署で予算を見極めながら進めています。早く取り組むようにしていきます。

◆耕作放棄地が今後も増加することが予測されるが、この対策にどう取り組んでいくのか。

【竹原公民館】

対策の一つとして、その地域で農業の保全活動などを行う「集落営農」に取り組んでいます。また、市外からの就農希望者が増えているので、その方たちへできる限りでの支援をしていきます。

※紙面の都合上、内容について要約したり正式な用語にしている部分がありますので、ご了承ください。

この他にも、各会場でたくさんのお意見や提言、質問などがありました。紙面の都合で、一部しか紹介できないこととお詫言います。

※この他の内容についてお知らせになりたい方は、下呂市ホームページをご覧くださいませ。また、郵送でも対応させていただきますので、秘書広報課までご連絡ください。

【秘書広報課】24・26222